

「話すこと・聞くこと」に関する問題

年

組

番

氏名

◇ 森田さんたちのクラスでは、手作りの観光リーフレットを作り、市の観光センターに置いてもらうことになりました。

森田さんは、アカウミガメの産卵と保護活動について調べてリーフレットを作ることにしました。河田さん、古田さんと話し合い、二人に質問や助言をもらうことで、アイデアを広げようとしています。次は、そのときの【話し合いの様子】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

※ () 中の言葉は、そのときの様子を説明したものです。

【話し合いの様子】

森田 ぼくは、アカウミガメの保護活動を調べてまとめようと思ってるんだ。どんなことを調べたらいいか、とかどうやって調べるか、などについてなやんでる。いろいろ助言をもらえればうれしいです。(不安そうに)

河田 さすがだね。生き物好きの森田君らしいテーマだよ。(笑顔)

古田 わたしも知りたいです。いろいろ質問するけどよろしくね。(明るく)

森田 こちらこそ。(軽く頭を下げる)

河田 そもそも森田君はどうしてアカウミガメを調べようと思ったの。(森田さんの顔を見て)

森田 それは近所のおじさんが「アカウミガメを守る会」で活動していて、小さい頃に一緒に保護活動に連れて行ってもらったことがあるんだよ。

河田 なるほど、小さい頃から興味を持ったんだね。(うなずく)

森田 うん。

古田 アカウミガメってどの位の大きさなの。形や大きさ、色が変わるといいね。(顔を見て)

森田 そうか。大きさや形、色が変わるように書く方がいいね。イラストを入れよう。ありがとう。(うなずきながら) そうだね、どこに行けばわかるかな。

森田 市役所の入り口にはく製が置いてあって、「アカウミガメを守る会」って書いてあった。守る会に聞いてみるよ。

河田 いつ産卵するの。それとふ化するのはいつなのかな。

森田 えっと：六月くらいだったかなあ。五月かなあ。これも「アカウミガメを守る会」に聞いた方がいいね。

河田 そうだね。それと、市でも保護活動を進めているのかな。

森田 そうか、それは市のホームページを見るといいかもね。ありがとう、質問に答えるところどんどんわかってきたぞ。(笑顔)

(二) 森田さんは、話し合いのはじめは不安そうな様子でしたが、最後には笑顔になるなど、気持ちが変わってきたことがわかります。森田さんの気持ちの変化は、二人がどのような態度で森田さんに対応した結果だと考えられますか。もつともふさわしいものを、次の中から二つ選んでその番号を書きましよう。

- 1 二人が、森田さんの質問に対し、前もって自分達なりの答えを用意しておくなど、誠実に応対してくれたから。
- 2 二人が質問をし、それに答えることで、森田さんは自分が何をどのよう調べたらよいか明らかに became したから。
- 3 二人が、森田さんの発言に対しうなずきや笑顔を見せたりするなど、森田さんに共感の姿勢を示していたから。
- 4 二人が、森田さんの質問やなやみに関係なく、自分達の素直で素朴な疑問を次々に投げかけてくれたから。

--	--

(二) 【話し合いの様子】の中の、①・②の発言は、それぞれのようねらいがあると考えられますか。その説明としてもつともふさわしいものを、次の中からそれぞれ選び、その番号を書きましよう。

- 1 相手の意見を認め、相手がそのテーマを選んだことのよさを認めようとしている。
- 2 自分の失敗から学んだことを話すことで、相手に自信を持たせようとしている。
- 3 相手の情報が明確ではないことを示し、調べる必要があることに気付かせている。
- 4 自分がよく知らないことを伝え、どれくらいの情報を持っているか探ろうとしている。

①	②
---	---

(三) 【話し合いの様子】の友だちからの質問に答えることによつて、森田さんは「どんどんわかってきた」と言っています。たとえば、部の質問によつて、森田さんは、どこに、どんなことを聞きに行くと考えられますか。

--	--	--

【解答例と解説】

(一) 解答は 2 3 です。

2 は、友だちの質問に答えることで、考えを深めることができる、という効果を利用した話し合いです。友だちと話し合うことで、アイデアをよりくわしくしたり、調べる内容や方法に気付いたりした経験があるのではないでしょうか。ぼんやりわかった気持ちでいる事も、友だちからの質問にこたえることによりはつきりしてくるようになるものです。

3 は、話し合いなどで意見を聞く態度についての問いです。自分の発言について、聞き手が関心を示してくれていると安心して意見を言えますね。反対に知らんぷりをされたり、疑っているようなそぶりをされたりしたら、とても発言しづらいですね。うなずいたり「なるほど」「いいね」などと共感しながら、相手の発言をうながす聞き方にも慣れていきたいものです。

(二) 解答は、① 1 ② 3 です。

① の「さすがだね。」は、森田さんが生き物好きだということを知っていて、その森田さんがアカウミガメの保護活動をテーマに選んだことに感心しているのです。相手のよさを認める反応と言えるでしょう。

② の質問の意図は、3か4になるでしょうが、相手がどれだけの情報を持っているのか探るような意図は感じられません。それよりも、森田さんが知っているつもりではつきり知らないことを、気付かせる働きがあった、と考えるのがよいでしょう。

(三) 「いつ産卵するの。それとふ化するのはいつなのかな。」という質問

に対し、森田さんは「えっと…六月くらいだったかなあ。五月かなあ。これも「アカウミガメを守る会」に聞いた方がいいね。」と返しています。どこに、は「アカウミガメを守る会」にでしょう。どんなことは「ふ化するのはいつか」ということを聞きに行くと考えられます。

「アカウミガメを守る会」に、ア
カウミガメがふ化する時期が、いつ
なのかを聞きに行く。